

意見交換会報告書（建設環境委員会）

国立市議会意見交換会

開催日時	令和3年10月15日（金） 午後3時から午後5時			
開催場所	国立市商工会館 会議室			
出席議員	小川 宏美	石塚 陽一	藤田 貴裕	関口 博
	青木 健	柏木 洋志	香西 貴弘	
相手先	国立市商工会			
参加人数	6名			
報告内容	<p>【意見交換会の概要】市商工会役員の皆様と『市内商工分野におけるコロナ禍の教訓、そして新たな未来に向けて』をテーマに、初めての意見交換会を開催。商工会の目的と事業内容の紹介、市域におけるコロナ禍の影響や実情をお伺いし、市の支援策への所感や各種ご意見を賜った。また市の従来の商工会との関係、特に補助金に関する経過や実情について確認し、今後を見据えて様々な意見交換を行った。</p> <p>【主な意見】（紙面都合上、商工会様側の発言を中心に記しています）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（見通し）コロナ禍で倒産が増えた訳ではなく、この間、借り入れを行った事業者が大半であり、むしろ数年後の返済開始時に影響が出てくると見るべきである。 ・（建設工業分野）コロナ禍よりも人手不足とそれを補うための設備投資への課題あり。リモートが進むことからリフォーム増にむけての行政支援策があればありがたい。 ・（旭通り商店会）コロナ禍で空き店舗が確実に増え、新築物件でも入らない現況あり。今後増えてくるであろうイベント等への支援のために予算を割いてほしい。 ・（くにたちStyle）認知度を上げねばならない。閑静な住宅街と旧駅舎再築、これに見合うブランディングの再考が必要。見直しに当たり市と何かしらの連携をしていきたい。 ・（くにたちポイント）20年以上前に開始したこの事業の継続に論議が起こっている。商店街の売り上げは人流の動きに影響される。木更津市のローカル電子決済事業は、コミュニティー活性化と人流の増加に繋がっているよい例で、検討に値するのでは。 ・（起業支援）プレイヤーをどう他地域から募るか、また失敗してもいい事業づくり。これをどう環境整備していくかが重要。民間同士の三角連携でできる可能性が有り。 ・（市の支援策）市の中小企業継続支援金は本当に有難い。PayPayは30%還元のパクトは強く、他市からの客獲得の意味ではよかった。しかし税を使う意味でも市民感情に配慮の上、より平等に利用できる様な今後の第2弾での施策展開が必要では。 ・（商工会への補助金）長年、市の補助金は変わらず410万円のまま。都内19市部でH30年度決算比較では最下位。市への予算要求が受けいれてもらえない現状がある。今後はコロナ関連補助金よりも、商工会活動において、より自由度の高まる金額ベースに改善されるよう要望する（410万の4分の1は利子支払いに充てている現状あり）。 <p>【意見交換会の集約】</p> <p>コロナ禍が商工業者へ与えた影響の一端を掴むということが開催の動機であったが、実際には、くにたちスタイル、くにたちポイント、商店街支援、商工会への補助金額等、長年積み重なってきた課題がより一層浮き彫りになる意見交換の場となった。また、これらの課題は相互に関連し、深い部分では、まち(市)の理念や目標とも関わることでもあり、一層行政との連携と協力が求められるものと思われる。地域経済を支える主体（事業者・住民・行政）が密に連携し、元気を取り戻しながら市内での交流が以前にも増して増え、市外からの来訪者や取引の流れもより一層広がっていく。コロナ禍を機として、こうした動きを加速させていくときを迎えたのではないか。</p>			

国立市議会議長 様

令和3年12月3日

報告者 建設環境委員長 香西貴弘